

環四国サイクリングプロジェクトを開催 オンライン国際交流&しまなみサイクリング(愛媛大)

国際交流型リーダーシップ研修「環四国サイクリングプロジェクト(オンライン国際交流&しまなみサイクリング)」が、10月1日と23日に実施された。1日に開催したオンライン国際交流には、愛媛大学学生26人、国立高雄科技大学(台湾)の学生21人と教職員ら計53人が参加した。また、23日に開催したしまなみサイクリングには同大学生と教職員ら33人が参加した。

同プロジェクトは今年で4年目を迎え、日本と台湾の学生がともに「自転車」というコンテンツを用いて地域の歴史・文化等に触れるフィールドワークを実施。日台間の異同等目を向けつつ、実社会で有用となるグローバルな感覚や、協働を促進するコミュニケーション・リーダーシップのあり方について実践的に学ぶことを目的としている。さらに、産学官連携事業として、愛媛県が推進する「自転車新文化」を両国の学生たちが広く発信することも目的の一つとなっている。

昨年度は、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の感染拡大予防の観点から、オンラインによる国際交流をメイン企画としていたが、今年度はオンラインでの国際交流に加え、感染防止対策を徹底。愛媛大の学生が実際にしまなみ海道をチームでサイクリングし、そこで集めたりアルな情報を、高雄科技大学にSNSを通じて伝えることで、さらに深く交流し、両国学生間の国や地域を超えた「深いつながり」を築く機会として実施した。

第1弾のオンライン国際交流では、①愛媛県内のサイクリングや、②気になる文化調べ、③日台の文化の違い(食事や交通手段など)、④愛媛アナバ発見(愛媛の魅力)、⑤サイクリング・愛媛超紹介(東予・中予・南予)のプレゼンを実施。参加者から「初めて知ること多かった」、台湾の参加者からも「いろいろな情報が盛り込まれていて面白かった」「自国の情報を日本の学生から聞き、台湾の文化や考えがわかるようになったのが新鮮だ

った」という声を多く聞くことができた。

第2弾のしまなみサイクリングでは、実際に愛媛大学生26名が、サンライズ糸山から来島大橋を自転車

大島と伯方島内を5チームに分かれ、チームそれぞれに行き先を組み合わせたコースを企画。安全に隊列を組んでサイクリングを楽しんだ。

プロジェクトに参加して得られたそれぞれの成果として、学生から「他で進めているプロジェクトに、このプロジェクトでの体験を活かしていきたい」「チームで走る楽しさを発見した」、「今後の自分の進路を決める上で、今回参加した経験を活かして考えていきたい」などの感想や抱負が発表された。さまざまな目的をもって集まったことや、それぞれに意味のある成果があったことを共有することができた。

また終了後も、高雄科技大学学生らと、SNS上で写真のやり取りを行うなどの継続した交流が行われ、来年の夏には、香川・小豆島うどんサイクリングプロジェクトで会おうと、強く心に誓うイベントとなった。



オンライン国際交流の集合写真



しまなみサイクリング参加学生

茂木健一郎氏が岐阜大学長らと鼎談 「Ph.D.の専門性」「これからの日本社会」

岐阜大学では去る10月11日、『学ぶって楽しくないか? 茂木先生と考える「Ph.D.の専門性」&「これからの日本社会」』と題して、

「これからの日本社会」をテーマに、日本国内で専

